



延岡フィルハーモニー管弦楽団

NOBEOKA Philharmony Orchestra

《楽団創立30周年記念》

30th Anniversary

第19回定期演奏会

The 19th Subscription Concert

2021.6/19 (土) 17:45 開場
18:30 開演

主 催

延岡フィルハーモニー管弦楽団

後 援

延岡フィルハーモニー管弦楽団賛助会 / (公財) のべおか文化事業団

延岡市教育委員会 / 延岡市文化連盟

夕刊デイリー新聞社 / 宮崎日日新聞社 / ケーブルメディアワイワイ

協 力

日本音楽財団 (日本財団助成事業)

プログラム

PROGRAM

ヨハン・シュトラウス2世 作曲
Johann Strauss II

喜歌劇「こうもり」序曲

Die Fledermaus ouverture

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 作曲
Wolfgang Amadeus Mozart

ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467

Piano Concerto No. 21 in C major, K. 467

第1楽章 Allegro maestoso ハ長調

第2楽章 Andante ヘ長調

第3楽章 Allegro vivace assai ハ長調



— 休憩 —

Intermission



ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 作曲
Ludwig van Beethoven

交響曲第6番 ヘ長調 作品68 『田園』

Symphony No.6 in F major Op.68 "Pastorale"

第1楽章 Allegro ma non troppo ヘ長調「田舎に到着したときの愉快的感情の目覚め」

第2楽章 Andante molto moto 変ロ長調「小川のほとりの情景」

第3楽章 Allegro ヘ長調「田舎の人々の楽しい集い」

第4楽章 Allegro ヘ短調「雷雨、嵐」

第5楽章 Allegretto ヘ長調「牧歌、嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち」

プロフィール

PROFILE

指揮者 Conductor

栴山 達己 Tatsumi KABAYAMA



延岡高校を経て東京音楽大学に入学。トランペットと指揮法を学ぶ。

1975年、同大学を卒業後、広島交響楽団に入団。トランペット奏者として活躍した。同団を退団後、教職に就き公立中学校を経て現在延岡学園高校特任教諭。

これまでに吹奏楽指導者として、祝吉中学校、財光寺中学校、東海中学校を吹奏楽コンクールの全国大会に導き、金賞を2回受賞している。また、吹奏楽の普及活動にも精力的に取り組み、宮崎県吹奏楽連盟理事長、全日本吹奏楽連盟理事等を歴任した。現在は宮崎県吹奏楽連盟顧問。

指揮者としては、延岡ウインドアンサンブル、宮崎ディレクターズバンド、宮崎市民吹奏楽団等で活動を重ね、アメリカ、イギリス、中国、韓国、シンガポールなどの演奏旅行に指揮者として同行した。またその間に宮崎交響楽団の結成に参加するなど、県内のオーケストラ活動に深くかかわり、1990年には長年の夢であった延岡フィルハーモニー管弦楽団を結成した。その後、1994年には宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団の指揮者に就任し、交響曲やオペラ、バレエなど様々な活動を続けている。2018年12月に25年間続けた宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者を退任し、現在は名誉指揮者。延岡フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。

ソリスト Soliste

山之口 美玖 Miku YAMANOKUCHI



延岡高校、東京音楽大学ピアノ科卒業。

ニュルンベルク音楽大学大学院修士課程コンサートソリスト科を最優秀の成績で修了。ニュルンベルク音大在学中、元ウィーンフィルコンサートマスターのダニエル・ゲーデ氏に室内楽の指導を受ける。

国内外のコンクールで入賞し、ドイツ国内において数多くのソロや室内楽のコンサートに出演する。

2017年帰国。宮崎県内において帰国記念リサイタル、九州交響楽団との室内楽コンサートをはじめ、ソロや伴奏ピアニストとして演奏活動をする他、後進の指導にもあたる。

ピアノを釈迦郡誠、米良奈甫子、中野洋子、丸山恵美、ガブリエル・ローゼンベルク、ベルンハルト・エンドレス各氏、室内楽をベルンハルト・シュミット(マンデリング四重奏団)、マッシミリアーノ・マイノルフィ各氏、音楽理論を三宅浩子氏に師事。

旭化成延岡合唱団、のべおか児童合唱団ピアニスト、小田原短期大学非常勤講師等を経て、現在は県立富岡高校音楽教諭。

管弦楽 Orchestra

延岡フィルハーモニー管弦楽団 NOBEOKA Philharmony Orchestra



1990年1月21日、賛助会組織をもつクラシック演奏団体として発足。県庁所在地でもない人口12万人足らずの地方都市アマチュアオーケストラは全国的にも珍しいが、取り巻く厳しい音楽環境のなか同年6月24日に第1回定期演奏会を成功させた。第5回定期演奏会からはプロの指揮者を招き、5年目には宮崎公演を成功させた。また親子で楽しむ「ファミリーコンサート」や、「室内楽の夕べ」を開くなどしてクラシック音楽の啓発活動に努めている。

2000年8月には延岡市の姉妹都市であるアメリカ合衆国メドフォード市での「第九」公演を行い大成功をおさめた。

2009年1月には「のべおか市民オペラ・延フィルニューイヤーオペラ2009『魔笛』」で、設立当初からの目的であったオペラ全幕公演を成功させた。以後、「ひむかオペラ協議会」に所属し、喜歌劇「こうもり」、歌劇「カルメン」、歌劇「魔笛」、歌劇「ラ・ボエーム」の全幕公演で演奏している。

地域の演奏依頼にも幅広く応え、ひむかミュージカル「ウズメ」、延岡バレエ20周年記念公演「ジゼル」、つなごう・延岡いわき支援プロジェクト「モーツァルト『レクイエム』公演」などで演奏している。また、各種イベント、式典、パーティーなどでの演奏依頼も積極的に引き受けている。さらに市内の児童福祉施設の子ども達を演奏会に招待したり、市内の各地に出向き「アウトリーチ・コンサート(出張演奏会)」を開催したりするなど、「地域のオーケストラ」としての活動は際だっている。

2015年からは延岡市の小・中・高校・特別支援学校の校歌をオーケストラ演奏したCDを製作し、各学校や同窓会に寄贈する活動を行っている。

他にも、若手の弦楽器奏者の育成を目指した「弦楽器教室」の開催、プロの弦楽器奏者を招いて「弦楽器クリニック」の開催、県北の小・中学生をオーディションしてピアノ協奏曲を共演するなど、若手の音楽家育成にも力をそそいでいる。

2014年「延岡市社会教育功労表彰」社会教育優良団体部門を受賞。

2016年(公財)宮崎県芸術文化協会「第25回芸術文化賞団体部門」を受賞。

